

# ～私が毎朝フルーツを食べるわけ～ ”一日一生という生き方”



発表者名  
松本 幸子

## 会社紹介

社名 ■ リハプライム 株式会社

代表者名 ■ 代表取締役 小池 修

所在地 ■ 埼玉県さいたま市大宮区上小町1106

業種 ■ 福祉施設

## グランプリ大会抱負

2011年、弊社社長は両親の入院をきっかけに、全くの異業種から介護施設の経営に乗り出しました。そして、この6年間、デイサービス、訪問看護、福祉用具、介護タクシー、娘息子代行サービス(シニア向け便利屋サービス)と様々な事業を展開してまいりました。そして、2018年1月には喫茶と美容室をオープン。介護事業者が喫茶?美容室?と疑問をもたれた方もいらっしゃるかもしれませんが。実は私達の事業の目的は、決して介護ではないのです。最期まで高齢者の方の尊厳を保ち、在宅での生活の困りごとを解決・サポートしていくことが事業目的なのです。ずっと人とつながるワクワク感がうまれるような喫茶も美容室も必然の展開なんです。第2創業ともいえる全くの異業種に見るこの新規事業立ち上げのきっかけを社史としても残しておきたい、そんな想いで作成し、感動物語コンテストへ応募させて頂きました。

## 作品エピソード

「一日一生」朝起きた時が生まれた時、そして夜寝る時が死ぬ時。そう考えると、毎日、後悔のないように、目の前の人に感謝を伝えたり、行動していくことの大切さを痛感します。そのきっかけとなるエピソードを動画としましたのでぜひ、ご覧ください。



## 志(理念)

敬護

お年寄りを介助してまもる介護ではなく、人生の大先輩を敬って護る「敬護」、この敬護サービスを通して高齢化社会をハッピーライタメント社会に変える。

## 志(理念)の解説

子供も高齢者も、特別な存在ではなく、共に、自分の過去・未来の延長線上にあり、自分そのものだという事にいつか気が付く。歳を重ねると、ただ、長く息をしている長生きに大きな意味がなく、日々、心躍る体験をし続けたい、人の役に立ちたいという想いが強くなります。体は思い通りに動かなくても、今の自分に多くの経験をプラスした自分がそこにいる。満ちて輝くような高齢期、そんな自分が求めることを、サポート・提供していくグッドカンパニーを目指していきます。

私達は、自分の親、妻(夫)、娘(息子)が人に媚びずに誇りを持って生きられる社会創りに貢献していくのだと決めています。

## 顧客満足度向上への取り組み

誕生日ムービー・写真集などのサプライズ。利用者様を勝手に表彰(笑)。利用者様の困りごとはもちろん、諦めていることにも背中を押し、夢を叶えるサポートをしています。(お墓参り、娘さんの結婚式参列、コンサート同行、など)介護目線ではなく、「敬護(敬って護る)」目線での立ち居振る舞いを研修、教育しています。

## スタッフの働き甲斐度向上への取り組み

イネBANK(webを使ったグッドジョブカード)、ありがとうシート(新入の社員へのありがとう攻め(笑))、期待シート(長所伸展を意図したコミュニケーションシート)、社員表彰式、子育て支援、起業支援社長塾、バースデイイベントなどを実施しています。

